

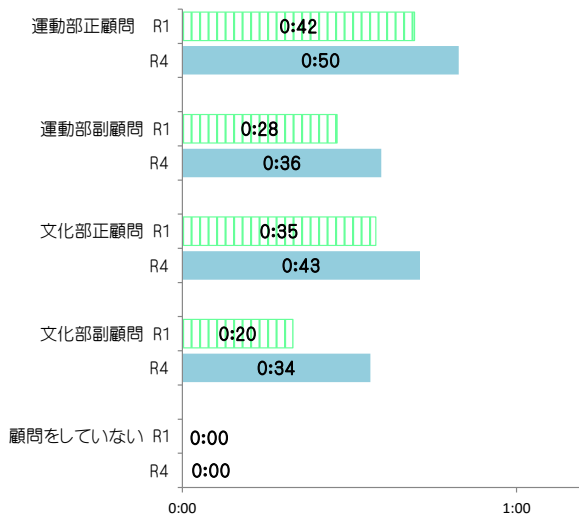
(3) 主幹教諭・教諭の属性別勤務時間

④ 部活動の担当別 1日当たりの部活動指導時間

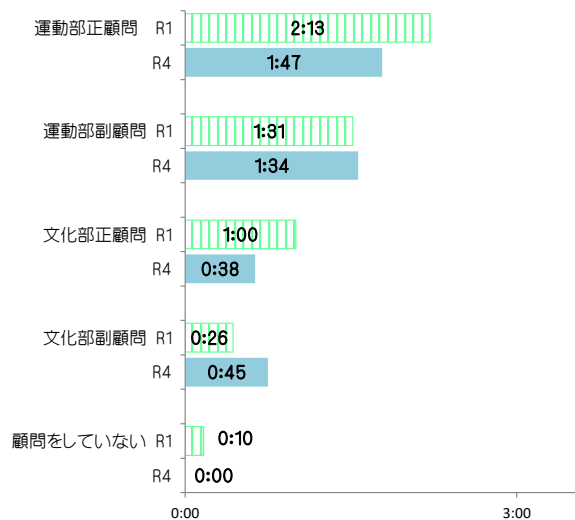
- ・部活動指導時間は、勤務日、勤務不要日ともに、運動部正顧問が最も長い。
- ・前回調査（R1）と比較して、勤務日においてR4の方が指導時間が長い傾向にある。

ア 中学校

【勤務日】

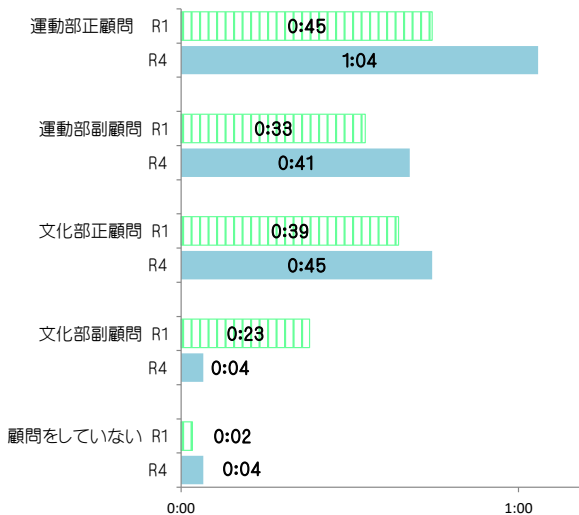


【勤務不要日】

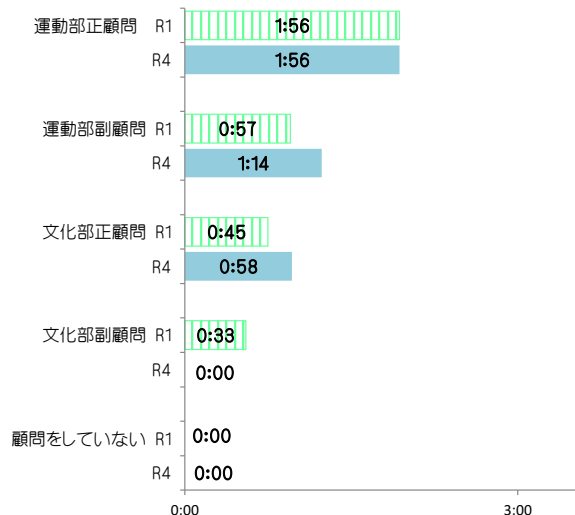


イ 高等学校

【勤務日】



【勤務不要日】



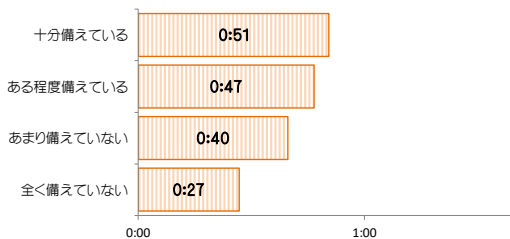
(3) 主幹教諭・教諭の属性別勤務時間

⑥ 部活動に関する知識・力量別 1日当たりの部活動指導時間

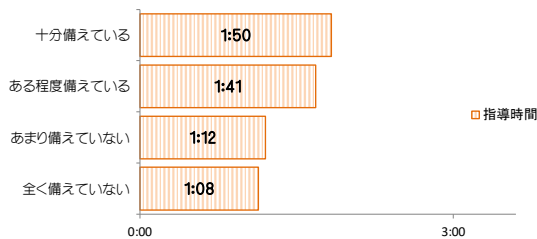
・勤務日と勤務不要日の別、校種にかかわらず、当該部活動に関する知識・力量を「十分備えている」、「ある程度備えている」の指導時間が長い。

ア 中学校

【勤務日】

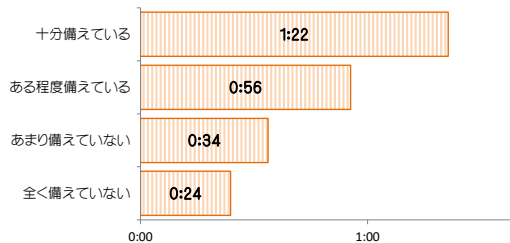


【勤務不要日】

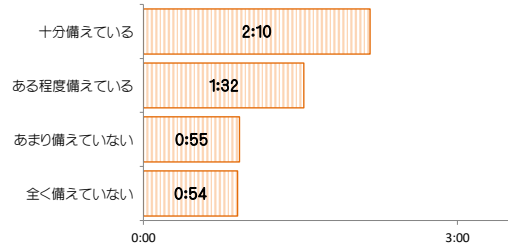


イ 高等学校

【勤務日】



【勤務不要日】



(4) 勤務日の休憩時間等

・全校種・全職種において、所定の休憩時間より実際に休憩をしている時間が少ない。

ア 小学校

	校長	教頭	主幹教諭・教諭	養護教諭	栄養教諭
R4	0:15	0:08	0:05	0:09	0:07

イ 中学校

	校長	副校長・教頭	主幹教諭・教諭	養護教諭	栄養教諭
R4	0:11	0:16	0:03	0:03	0:02

ウ 高等学校

	校長	副校長・教頭	主幹教諭・教諭	養護教諭	実習助手
R4	0:36	0:32	0:23	0:22	0:30

エ 特別支援学校

	校長	副校長・教頭	主幹教諭・教諭	養護教諭	栄養教諭	実習助手
R4	0:27	0:27	0:15	0:23	0:28	0:29

3 教育職員の意識等に係る調査について

(1) 調査対象職員の属性等について

総回答数 2,331

項目	回答数	割合	項目	回答数	割合
性別			授業でのICT機器活用状況		
①男性	1,484	63.7%	①電子黒板、プロジェクター	よく使う 750	56.5%
②女性	847	36.3%		時々使う 567	(R1:35.8%)
年齢			②タブレット	よく使う 641	62.6%
①30歳以下	377	16.2%		時々使う 819	(R1:32.6%)
②31～40歳	368	15.8%	学校外からの教員用端末の利用状況 (端末を持ち帰り、自宅等から校務データへアクセスし、活用していますか)		
③41～50歳	683	29.3%	①アクセスし、活用している	147	6.3%
④51～60歳	801	34.4%	②アクセスできるが、活用していない	338	14.5%
⑤61歳以上	102	4.4%	③アクセスできない	1,846	79.2%
学校種			校務分掌の担当状況（複数回答可）		
①小学校	538	23.1%	①総務	263	9.9%
②中学校	492	21.1%	②教務	542	20.4%
③高等学校	748	32.1%	③生活・生徒指導	473	17.8%
④特別支援学校	553	23.7%	④進路指導	227	8.5%
職名			⑤児童会・生徒会	162	6.1%
①校長	85	3.6%	⑥保健環境	219	8.2%
②副校長	6	0.3%	⑦図書・視聴覚	147	5.5%
③教頭	92	3.9%	⑧研修・研究	230	8.6%
④主幹教諭	22	0.9%	⑨その他（学年主任・地域支援など）	396	14.9%
⑤教諭	1,908	81.9%	部活動顧問の担当状況		
⑥養護教諭	98	4.2%	①部活動の顧問をしている	1,185	50.8%
⑦栄養教諭	21	0.9%	②部活動の顧問をしていない	1,146	49.2%
⑧実習助手	99	4.2%	担当の部活動について、指導可能な知識や技術を備えていると思いますか(※2)		
子育ての状況			①はい	十分備えている 212	54.3%
①未就学児	263	11.3%		ある程度備えている 432	
②小中学生	441	18.9%	②いいえ	あまり備えていない 310	45.7%
③高校生以上	613	26.3%		全く備えていない 231	
④子どもはいない	1,014	43.5%	担当している部活動(※2)		
介護の状況			①野球部	94	7.9%
①自宅要介護	66	2.8%	②サッカー部	80	6.8%
②自宅外要介護	217	9.3%	③バレーボール部	89	7.5%
③介護なし	2,048	87.9%	④バスケットボール部	109	9.2%
通勤の状況			⑤陸上部	62	5.2%
①片道15分未満	1,142	49.0%	⑥卓球部	68	5.7%
②片道15分以上30分未満	579	24.8%	⑦テニス部	52	4.4%
③片道30分以上60分未満	479	20.5%	⑧柔道部	6	0.5%
④片道60分以上	131	5.6%	⑨剣道部	12	1.0%
学級担任の担当状況(※1)			⑩吹奏楽部	84	7.1%
①学級担任をしている	1,036	53.7%	⑪美術部	36	3.0%
②学級担任をしていない	894	46.3%	⑫その他	493	41.6%

(※1)主幹教諭・教諭のみ回答 (※2)部活動顧問のみ回答

(2) 忙しさを感じる業務について

① 小学校

・小学校においては、忙しさを「感じている・まあ感じている」と回答した割合が高い項目は、①「事務処理(調査への回答)」②「事務処理(その他)」③「成績処理」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	事務処理(調査への回答)	79.0%	82.1%	76.2%
2	事務処理(その他)	71.9%	78.6%	66.9%
3	成績処理	58.0%	3.6%	59.9%
4	保護者対応	53.9%	46.4%	53.3%
5	学校行事(含む準備)	50.0%	28.6%	52.8%
6	会議(出張)	46.5%	50.0%	38.8%
7	会計	45.5%	35.7%	45.1%
8	研修(校内)	44.8%	14.3%	48.3%
9	教材研究・授業準備・指導計画	43.1%	14.3%	44.7%
9	PTA等対応	43.1%	42.9%	40.0%
11	職員会議・学年会等の会議	40.9%	32.1%	42.9%
12	個別の生徒指導・教育相談	40.1%	7.1%	37.3%
13	行政・関係団体対応	39.0%	46.4%	32.3%
14	児童会・生徒会指導	34.2%	3.6%	25.8%
15	学校経営・学校運営	33.3%	39.3%	33.0%
16	研修(出張)	32.9%	32.1%	31.7%
17	地域対応	32.2%	39.3%	30.1%
18	学年・学級・保健室経営	31.8%	10.7%	32.3%
19	授業外の学習指導等	30.7%	3.6%	32.7%
20	集団への生徒指導	30.5%	17.9%	31.1%
21	個別の打合せ	30.1%	25.0%	29.9%
22	授業(主担当)	29.2%	10.7%	33.6%
23	部活動・クラブ活動	28.6%	0.0%	42.6%
24	朝の指導	23.8%	3.6%	25.5%
25	授業(補助)	11.9%	17.9%	16.4%

※複数回答可

(2) 忙しさを感じる業務について

② 中学校

・中学校においては、忙しさを「感じている・まあ感じている」と回答した割合が高い項目は、①「事務処理(調査への回答)」②「事務処理(その他)」③「保護者対応」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	事務処理(調査への回答)	75.8%	96.4%	76.7%
2	事務処理(その他)	65.9%	89.3%	65.6%
3	保護者対応	55.7%	60.7%	58.5%
4	部活動・クラブ活動	53.3%	7.1%	61.7%
5	PTA等対応	51.0%	67.9%	53.1%
6	成績処理	50.2%	10.7%	60.0%
7	会計	46.3%	64.3%	49.1%
8	学校行事(含む準備)	45.3%	25.0%	50.9%
9	行政・関係団体対応	40.0%	67.9%	40.3%
10	会議(出張)	39.2%	39.3%	41.0%
11	職員会議・学年会等の会議	38.8%	39.3%	41.3%
12	地域対応	38.4%	64.3%	38.3%
13	研修(校内)	37.0%	28.6%	41.3%
14	教材研究・授業準備・指導計画	32.9%	7.1%	39.1%
15	個別の生徒指導・教育相談	31.5%	10.7%	36.4%
16	学校経営・学校運営	30.3%	53.6%	29.5%
17	個別の打合せ	29.9%	35.7%	32.7%
18	研修(出張)	28.0%	25.0%	30.0%
19	学年・学級・保健室経営	27.0%	7.1%	31.2%
20	授業外の学習指導等	25.2%	3.6%	29.7%
21	児童会・生徒会指導	24.8%	7.1%	29.0%
22	集団への生徒指導	24.4%	10.7%	28.5%
23	授業(主担当)	23.0%	3.6%	27.5%
24	授業(補助)	21.3%	0.0%	25.8%
25	朝の指導	19.9%	10.7%	22.9%

※複数回答可

(2) 忙しさを感じる業務について

③ 高等学校

・高等学校においては、忙しさを「感じている・まあ感じている」と回答した割合が高い項目は、①「事務処理(調査への回答)」②「事務処理(その他)」③「成績処理」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	事務処理(調査への回答)	71.4%	69.2%	75.2%
2	事務処理(その他)	61.2%	69.2%	64.7%
3	成績処理	52.7%	3.8%	62.6%
4	保護者対応	51.6%	46.2%	56.0%
4	部活動・クラブ活動	51.6%	0.0%	57.2%
6	学校行事(含む準備)	46.1%	7.7%	50.7%
7	会計	43.0%	23.1%	47.8%
8	研修(校内)	42.4%	19.2%	46.5%
9	職員会議・学年会等の会議	40.5%	34.6%	44.6%
10	教材研究・授業準備・指導計画	37.3%	3.8%	43.5%
11	PTA等対応	36.9%	38.5%	40.4%
12	会議(出張)	36.9%	19.2%	40.7%
13	個別の生徒指導・教育相談	36.6%	3.8%	40.7%
14	集団への生徒指導	35.0%	3.8%	38.6%
15	授業外の学習指導等	34.6%	0.0%	39.6%
16	学校経営・学校運営	32.0%	34.6%	35.1%
17	行政・関係団体対応	31.7%	19.2%	34.8%
18	研修(出張)	31.7%	15.4%	35.3%
19	朝の指導	31.0%	3.8%	34.5%
20	地域対応	30.3%	30.8%	33.7%
21	授業(主担当)	30.1%	3.8%	35.4%
22	学年・学級・保健室経営	29.4%	0.0%	34.0%
23	個別の打合せ	25.8%	26.9%	28.3%
24	児童会・生徒会指導	21.1%	0.0%	23.8%
25	授業(補助)	12.8%	0.0%	14.3%

※複数回答可

(2) 忙しさを感じる業務について

④ 特別支援学校

・特別支援学校においては、忙しさを「感じている・まあ感じている」と回答した割合が高い項目は、①「事務処理(調査への回答)」②「事務処理(その他)」③「研修(校内)」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	事務処理(調査への回答)	67.6%	87.5%	69.9%
2	事務処理(その他)	58.8%	81.2%	60.9%
3	研修(校内)	49.7%	31.2%	53.9%
4	学校行事(含む準備)	48.3%	25.0%	54.4%
5	教材研究・授業準備・指導計画	40.7%	6.2%	46.5%
6	成績処理	39.8%	6.2%	47.4%
7	保護者対応	37.6%	50.0%	40.8%
8	職員会議・学年会等の会議	37.3%	43.7%	40.0%
9	授業(主担当)	30.7%	6.2%	36.0%
10	会計	29.7%	31.2%	32.3%
11	学校経営・学校運営	27.1%	50.0%	30.3%
12	会議(出張)	24.4%	56.2%	25.5%
13	個別の打合せ	24.1%	43.7%	26.4%
14	学年・学級・保健室経営	23.9%	6.2%	26.6%
15	研修(出張)	22.4%	31.2%	24.7%
16	個別の生徒指導・教育相談	21.9%	18.7%	25.3%
17	授業外の学習指導等	18.4%	0.0%	21.8%
18	集団への生徒指導	17.5%	6.2%	20.1%
19	PTA等対応	17.0%	50.0%	18.3%
20	行政・関係団体対応	15.9%	75.0%	15.1%
21	地域対応	13.9%	43.7%	14.8%
22	朝の指導	13.6%	12.5%	14.4%
22	授業(補助)	13.6%	6.2%	14.8%
24	部活動・クラブ活動	12.3%	0.0%	14.2%
25	児童会・生徒会指導	10.7%	0.0%	12.2%

※複数回答可

(3) 忙しさや負担感を解消するために必要なことについて

① 小学校

・表中の35項目のうち、忙しさや負担感を解消するために必要と回答(最大3つまで選択)した割合が高い項目は、①「1クラス当たりの子どもの数を減らしたり、教職員定数の増を図る」②「校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る」③「学校の業務について一部外部委託を行う」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	1クラス当たりの子どもの数を減らしたり、教職員定数の増を図る	57.1%	46.4%	59.2%
2	校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る	33.3%	39.3%	35.4%
3	学校の業務について一部外部委託を行う	23.4%	14.3%	25.0%
4	教育委員会や他の行政機関からの調査などを精選し、業務の合理化を図る	13.8%	21.4%	11.7%
5	会議や打合せを精選する	13.6%	7.1%	13.7%
6	特別支援教育支援員など専門スタッフの配置の充実を図る	13.0%	7.1%	13.3%
7	年間授業時数の削減など教育課程編成の改善・工夫を図る	12.5%	7.1%	13.5%
8	学校行事の精選や教職員間の教育活動(業務)の標準化を図る	12.1%	10.7%	12.4%
9	校内分掌を教職員(事務職員等を含む)が適切に分担する	11.7%	17.9%	11.7%
10	校務のICT化を進め、情報の共有化、事務処理短縮を図る	10.0%	7.1%	10.6%
11	勤務時間外の電話対応について留守番電話の設置やメールによる連絡対応等とする	8.9%	14.3%	7.9%
12	休憩時間を確保するなど教職員の勤務時間を考慮した適正な勤務時間設定とする	7.1%	3.6%	7.4%
13	教職員・管理職の意識改革(長時間労働という働き方の見直し)を図る	6.7%	21.4%	5.6%
13	学校行事の見直しや学校経営の内容など、保護者、地域の理解充実を図る	6.7%	7.1%	6.3%
15	地域、保護者等からの多様な要望に対する対応(教育委員会によるサポート体制など)を進める	6.1%	17.9%	5.0%
16	給食費以外の学納金(学用品、PTA会費、修学旅行費など)の徴収等の事務を改善する	5.9%	3.6%	6.1%
17	主幹教諭や指導教諭など、経験豊富な相談できる教諭の配置を進める	5.6%	14.3%	4.1%
18	印刷機やコピー機等のOA機器を定期的に更新する	4.1%	0.0%	3.6%
19	校務支援システムを導入又は活用する	3.9%	3.6%	3.6%
20	会議や打合せの際、時間・人数・資料等の工夫をする	3.5%	3.6%	2.7%
21	定時退勤日、ノー残業デーを設定し、実施を徹底する	3.3%	3.6%	3.6%
22	学校内外において若手教員への支援の充実を図る	3.2%	0.0%	2.9%
23	重複する研修の精選や内容の見直しを図る	3.0%	3.6%	2.9%
24	変形労働時間制や週休日の振替などの制度の一層の活用を図る	2.6%	3.6%	2.9%
25	研究指定事業の精査・精選を図る	2.0%	3.6%	2.3%
25	他の機関や地域等が主催する行事への参加を精選する	2.0%	3.6%	1.8%
27	保護者、地域に理解を求め、ボランティアの学校への派遣など地域人材を活用する	1.9%	3.6%	1.6%
28	部活動に部活動指導員などの外部人材を活用する	1.5%	0.0%	1.4%
29	学校事務の共同実施(特定の学校に複数の事務職員を集中的に配置して複数校を兼務)を行う	1.3%	7.1%	0.7%
30	給食費の徴収等の事務を改善する	0.9%	0.0%	0.7%
31	部活動休養日(週2日)を遵守する	0.4%	0.0%	0.2%
31	部活動を複数の職員がサポートできる体制(複数顧問)とする	0.4%	0.0%	0.2%
31	週休日・休日の部活動時間(3時間程度)を遵守する	0.4%	0.0%	0.5%
34	平日の部活動時間(2時間程度)を遵守する	0.2%	0.0%	0.2%
	その他	2.6%	3.6%	2.7%

※複数回答可

(3) 忙しさや負担感を解消するために必要なことについて

② 中学校

・表中の35項目のうち、忙しさや負担感を解消するために必要と回答(最大3つまで選択)した割合が高い項目は、①「1クラス当たりの子どもの数を減らしたり、教職員定数の増を図る」②「校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る」③「部活動に部活動指導員などの外部人材を活用する」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	1クラス当たりの子どもの数を減らしたり、教職員定数の増を図る	42.7%	39.3%	43.7%
2	校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る	30.7%	42.9%	29.7%
3	部活動に部活動指導員などの外部人材を活用する	23.4%	17.9%	24.6%
4	学校の業務について一部外部委託を行う	22.0%	25.0%	21.9%
5	校内分掌を教職員(事務職員等を含む)が適切に分担する	14.6%	17.9%	15.7%
6	学校行事の精選や教職員間の教育活動(業務)の標準化を図る	12.2%	10.7%	13.0%
7	会議や打合せを精選する	10.8%	7.1%	11.3%
8	特別支援教育支援員など専門スタッフの配置の充実を図る	10.4%	14.3%	9.3%
9	部活動休養日(週2日)を遵守する	10.2%	3.6%	10.8%
10	教育委員会や他の行政機関からの調査などを精選し、業務の合理化を図る	8.9%	32.1%	6.9%
11	年間授業時数の削減など教育課程編成の改善・工夫を図る	8.5%	3.6%	9.1%
12	校務のICT化を進め、情報の共有化、事務処理短縮を図る	7.5%	3.6%	8.6%
12	勤務時間外の電話対応について留守番電話の設置やメールによる連絡対応等とする	7.5%	3.6%	8.4%
14	定時退勤日、ノー残業デーを設定し、実施を徹底する	6.7%	3.6%	6.4%
14	部活動を複数の職員がサポートできる体制(複数顧問)とする	6.7%	0.0%	7.4%
16	教職員・管理職の意識改革(長時間労働という働き方の見直し)を図る	6.3%	7.1%	4.9%
16	学校行事の見直しや学校経営の内容など、保護者、地域の理解充実を図る	6.3%	7.1%	6.1%
16	地域、保護者等からの多様な要望に対する対応(教育委員会によるサポート体制など)を進める	6.3%	7.1%	5.9%
19	給食費以外の学納金(学用品、PTA会費、修学旅行費など)の徴収等の事務を改善する	5.7%	3.6%	5.9%
20	休憩時間を確保するなど教職員の勤務時間を考慮した適正な勤務時間設定とする	5.1%	10.7%	5.4%
21	会議や打合せの際、時間・人数・資料等の工夫をする	4.3%	3.6%	3.4%
22	重複する研修の精選や内容の見直しを図る	4.1%	10.7%	3.4%
23	変形労働時間制や週休日の振替などの制度の一層の活用を図る	3.9%	3.6%	4.2%
24	印刷機やコピー機等のOA機器を定期的に更新する	3.5%	3.6%	3.4%
25	主幹教諭や指導教諭など、経験豊富な相談できる教諭の配置を進める	2.6%	0.0%	2.5%
26	平日の部活動時間(2時間程度)を遵守する	2.4%	0.0%	2.5%
27	他の機関や地域等が主催する行事への参加を精選する	2.2%	3.6%	1.7%
28	校務支援システムを導入又は活用する	2.0%	0.0%	1.7%
29	学校内外において若手教員への支援の充実を図る	1.6%	3.6%	1.0%
29	週休日・休日の部活動時間(3時間程度)を遵守する	1.6%	0.0%	2.0%
29	保護者、地域に理解を求め、ボランティアの学校への派遣など地域人材を活用する	1.6%	0.0%	1.2%
32	研究指定事業の精査・精選を図る	1.0%	0.0%	0.7%
33	給食費の徴収等の事務を改善する	0.4%	0.0%	0.5%
34	学校事務の共同実施(特定の学校に複数の事務職員を集中的に配置して複数校を兼務)を行う	0.2%	0.0%	0.2%
	その他	3.7%	3.6%	4.2%

※複数回答可

(3) 忙しさや負担感を解消するために必要なことについて

③ 高等学校

・表中の35項目のうち、忙しさや負担感を解消するために必要と回答(最大3つまで選択)した割合が高い項目は、①「校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る」②「1クラス当たりの子どもの数を減らしたり、教職員定数の増を図る」③「校内分掌を教職員(事務職員等を含む)が適切に分担する」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る	37.3%	26.9%	39.3%
2	1クラス当たりの子どもの数を減らしたり、教職員定数の増を図る	36.9%	30.8%	37.7%
3	校内分掌を教職員(事務職員等を含む)が適切に分担する	27.8%	15.4%	29.6%
4	学校の業務について一部外部委託を行う	19.9%	15.4%	20.1%
5	学校行事の精選や教職員間の教育活動(業務)の平準化を図る	17.6%	30.8%	17.7%
6	部活動に部活動指導員などの外部人材を活用する	14.4%	3.8%	15.8%
7	会議や打合せを精選する	13.0%	15.4%	13.2%
8	部活動休養日(週2日)を遵守する	11.0%	3.8%	10.6%
9	教職員・管理職の意識改革(長時間労働という働き方の見直し)を図る	9.9%	34.6%	8.5%
10	教育委員会や他の行政機関からの調査などを精選し、業務の合理化を図る	7.9%	23.1%	7.1%
11	年間授業時数の削減など教育課程編成の改善・工夫を図る	7.4%	7.7%	8.2%
12	校務のICT化を進め、情報の共有化、事務処理短縮を図る	7.2%	19.2%	6.6%
13	定時退勤日、ノー残業デーを設定し、実施を徹底する	6.3%	3.8%	6.0%
14	印刷機やコピー機等のOA機器を定期的に更新する	5.2%	0.0%	5.2%
14	週休日・休日の部活動時間(3時間程度)を遵守する	5.2%	0.0%	5.2%
16	変形労働時間制や週休日の振替などの制度の一層の活用を図る	4.9%	7.7%	4.7%
17	特別支援教育支援員など専門スタッフの配置の充実を図る	4.8%	3.8%	3.7%
18	平日の部活動時間(2時間程度)を遵守する	4.4%	0.0%	4.3%
19	部活動を複数の職員がサポートできる体制(複数顧問)とする	3.9%	0.0%	3.7%
20	主幹教諭や指導教諭など、経験豊富な相談できる教諭の配置を進める	3.6%	15.4%	2.4%
21	学校行事の見直しや学校経営の内容など、保護者、地域の理解充実を図る	3.5%	0.0%	3.2%
21	会議や打合せの際、時間・人数・資料等の工夫をする	3.5%	7.7%	3.1%
21	休憩時間を確保するなど教職員の勤務時間を考慮した適正な勤務時間設定とする	3.5%	0.0%	3.2%
24	重複する研修の精選や内容の見直しを図る	3.2%	3.8%	3.4%
25	学校内外において若手教員への支援の充実を図る	2.5%	0.0%	2.4%
26	勤務時間外の電話対応について留守番電話の設置やメールによる連絡対応等とする	2.1%	0.0%	2.3%
27	地域、保護者等からの多様な要望に対する対応(教育委員会によるサポート体制など)を進める	1.3%	0.0%	1.4%
27	給食費以外の学納金(学用品、PTA会費、修学旅行費など)の徴収等の事務を改善する	1.3%	0.0%	1.6%
29	研究指定事業の精査・精選を図る	0.9%	0.0%	1.0%
29	学校事務の共同実施(特定の学校に複数の事務職員を集中的に配置して複数校を兼務)を行う	0.9%	7.7%	0.6%
31	校務支援システムを導入又は活用する	0.7%	0.0%	0.8%
31	保護者、地域に理解を求め、ボランティアの学校への派遣など地域人材を活用する	0.7%	0.0%	0.6%
33	他の機関や地域等が主催する行事への参加を精選する	0.4%	0.0%	0.2%
33	給食費の徴収等の事務を改善する	0.4%	0.0%	0.5%
	その他	4.1%	3.8%	4.0%

※複数回答可

(3) 忙しさや負担感を解消するために必要なことについて

④ 特別支援学校

・表中の35項目のうち、忙しさや負担感を解消するために必要と回答(最大3つまで選択)した割合が高い項目は、①「校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る」②「校内分掌を教職員(事務職員等を含む)が適切に分担する」③「学校行事の精選や教職員間の教育活動(業務)の平準化を図る」の順となっている。

順位	項目	教育職員全体	副校長・教頭	主幹教諭・教諭
1	校内分掌・委員会の精選・業務の見直し(廃止を含む)など、業務負担軽減を図る	49.5%	25.0%	50.7%
2	校内分掌を教職員(事務職員等を含む)が適切に分担する	28.2%	31.3%	27.3%
3	学校行事の精選や教職員間の教育活動(業務)の平準化を図る	25.9%	12.5%	25.8%
4	会議や打合せを精選する	23.5%	18.8%	21.4%
5	学校の業務について一部外部委託を行う	19.0%	25.0%	20.7%
6	1クラス当たりの子どもの数を減らしたり、教職員定数の増を図る	17.0%	25.0%	18.8%
7	会議や打合せの際、時間・人数・資料等の工夫をする	10.5%	0.0%	10.7%
8	年間授業時数の削減など教育課程編成の改善・工夫を図る	9.4%	6.3%	10.0%
9	校務のICT化を進め、情報の共有化、事務処理短縮を図る	8.9%	6.3%	9.6%
10	教職員・管理職の意識改革(長時間労働という働き方の見直し)を図る	8.7%	25.0%	9.0%
11	学校行事の見直しや学校経営の内容など、保護者、地域の理解充実を図る	7.4%	6.3%	8.1%
12	特別支援教育支援員など専門スタッフの配置の充実を図る	7.2%	0.0%	7.4%
13	教育委員会や他の行政機関からの調査などを精選し、業務の合理化を図る	6.9%	31.3%	6.3%
14	学校内外において若手教員への支援の充実を図る	6.1%	6.3%	5.5%
15	休憩時間を確保するなど教職員の勤務時間を考慮した適正な勤務時間設定とする	5.1%	6.3%	4.8%
16	変形労働時間制や週休日の振替などの制度の一層の活用を図る	4.9%	0.0%	4.8%
17	主幹教諭や指導教諭など、経験豊富な相談できる教諭の配置を進める	4.5%	31.3%	2.4%
18	印刷機やコピー機等のOA機器を定期的に更新する	3.8%	0.0%	3.9%
18	重複する研修の精選や内容の見直しを図る	3.8%	0.0%	4.4%
20	勤務時間外の電話対応について留守番電話の設置やメールによる連絡対応等とする	3.4%	0.0%	3.1%
21	定時退勤日、ノー残業デーを設定し、実施を徹底する	3.1%	12.5%	2.4%
22	地域、保護者等からの多様な要望に対する対応(教育委員会によるサポート体制など)を進める	2.7%	6.3%	2.2%
23	部活動に部活動指導員などの外部人材を活用する	2.0%	0.0%	2.0%
24	給食費以外の学納金(学用品、PTA会費、修学旅行費など)の徴収等の事務を改善する	1.6%	0.0%	1.7%
25	校務支援システムを導入又は活用する	1.4%	0.0%	1.7%
25	保護者、地域に理解を求め、ボランティアの学校への派遣など地域人材を活用する	1.4%	0.0%	1.5%
27	部活動を複数の職員がサポートできる体制(複数顧問)とする	1.3%	0.0%	1.5%
27	研究指定事業の精査・精選を図る	1.3%	0.0%	1.3%
29	他の機関や地域等が主催する行事への参加を精選する	0.7%	6.3%	0.7%
29	学校事務の共同実施(特定の学校に複数の事務職員を集中的に配置して複数校を兼務)を行う	0.7%	0.0%	0.9%
29	給食費の徴収等の事務を改善する	0.7%	0.0%	0.4%
32	部活動休養日(週2日)を遵守する	0.5%	0.0%	0.4%
32	平日の部活動時間(2時間程度)を遵守する	0.5%	0.0%	0.7%
34	週休日・休日の部活動時間(3時間程度)を遵守する	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	4.5%	12.5%	4.4%

※複数回答可

(4) 個人の仕事に対する意識について

① 教育職員全体(小学校)

- ・小学校においては、他の学校種と比較し、仕事上のストレスを感じている、会議が多いと回答する割合が低かった。
- ・一方、教材や資料等が使いやすいように整理されている、業務の平準化が図られていると回答する割合が高かった。

項目	総回答数	回答		割合	グラフ
		感じている まあ感じている			
1	538	222	250	87.7%	
2	538	147	201	64.7%	
3	538	189	231	78.1%	
4	538	41	189	42.8%	
5	538	22	63	15.8%	
6	538	102	229	61.5%	
項目	総回答数	回答		割合	グラフ
7	538	111	309	78.1%	
8	538	103	264	68.2%	
9	538	246	272	96.3%	
10	538	34	145	33.3%	
11	538	55	286	63.4%	

(4) 個人の仕事に対する意識について

② 教育職員全体(中学校)

- 中学校においては、他の学校種と比較し、1日の勤務時間を設定して働いている割合が低かった。
- 一方、自分の時間を犠牲にしたり体に負担をかけたりしていると感じている割合が高かった。

項目	総回答数	回答		割合	グラフ
		感じている まあ感じている			
1	492	185	244	87.2%	
2	492	165	193	72.8%	
3	492	207	193	81.3%	
4	492	32	173	41.7%	
5	492	23	65	17.9%	
6	492	80	172	51.2%	
項目	総回答数	回答		割合	グラフ
7	492	68	265	67.7%	
8	492	112	248	73.2%	
9	492	197	251	91.1%	
10	492	56	176	47.2%	
11	492	20	216	48.0%	

(4) 個人の仕事に対する意識について

③ 教育職員全体(高等学校)

- 高等学校においては、他の学校種と比較し、業務の平準化が図られていると感じている割合が低かった。
- 一方、教材研究の時間が確保できていると感じている割合が高かった。

項目	総回答数	回答		割合	グラフ
		感じている まあ感じている			
1	748	240	363	80.6%	
2	748	270	287	74.5%	
3	748	303	291	79.4%	
4	748	78	287	48.8%	
5	748	47	95	19.0%	
6	748	127	261	51.9%	
項目	総回答数	回答		割合	グラフ
		感じている まあ感じている			
7	748	61	357	55.9%	
8	748	205	355	74.9%	
9	748	137	434	76.3%	
10	748	104	315	56.0%	
11	748	14	143	21.0%	

(4) 個人の仕事に対する意識について

④ 教育職員全体(特別支援学校)

- 特別支援学校においては、他の学校種と比較し、子どもたちのために時間外勤務を厭わない環境にあると感じている割合が低かった。
- 一方、会議が多いと感じている割合が高かった。

項目	総回答数	回答		割合	グラフ
		感じている まあ感じている			
1	あなたは、今の仕事にやりがいを感じていますか。	553	183 286	84.8%	
2	あなたは、現在仕事上のストレスを感じていますか。	553	172 202	67.6%	
3	あなたは、教育の質を維持するために、自分の時間を犠牲にしたり身体に負担をかけたりしていますか。	553	181 229	74.1%	
4	あなたは、教材研究の時間が十分に確保できていますか。	553	37 187	40.5%	
5	あなたは、時間外勤務を減らすことに抵抗感がありますか。	553	25 80	19.0%	
6	あなたは、1日の勤務時間(出勤時間)を設定して働いていますか。	553	113 225	61.1%	
項目	総回答数	回答		割合	グラフ
7	あなたが勤務している学校では、教材や資料等が使いやすいように整理されていますか。	553	32 277	55.9%	
8	あなたが勤務している学校では、子どもたちのために時間外勤務等を厭わない環境にありますか。	553	76 272	62.9%	
9	あなたが勤務している学校では、突発的な業務が発生したときなど、臨機応変に協力できていますか。	553	113 351	83.9%	
10	あなたが勤務している学校では、会議が多いですか。	553	121 268	70.3%	
11	あなたが勤務している学校では、特定の人に業務が集中しないよう業務の平準化が図られていますか。	553	10 144	27.8%	